brother

取扱説明書

・本機の取り扱い
・こんなとき
・アフターサービス 他

MW-260
モバイルプリンタ

- ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようにしてください。

Version A

はじめに

このたびは、モバイルプリンタ MPrint MW-260（以下「本機」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機はWindows Mobile搭載端末やパソコンと接続し、簡単な操作で印刷できる、軽量、薄型の感熱式モノクロモバイルプリンタです。

本書は、お使いになるための注意事項や本機の操作方法を記載しています。ご使用になる前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しくお取り扱いください。

- 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。お問い合わせ先は、巻末に記載しています。
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他特殊な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- 本機の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害（消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信手段の消失など）に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

はじめに

○ 万一、当社の製造上の原因による品質不良があった場合には、商品をお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。

○ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本機は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにインターフェース切替スイッチを IrDA 側にして、Bluetooth での本機の使用を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局も対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたよきは、弊社のコールセンターへお問い合わせください。

2. 4 F H 2

本装置は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20m です。

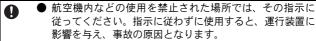
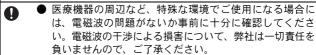
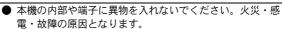
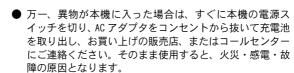
(1) 「2.4」　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
(2) 「FH」　：変調方式を表す。本機は、FH-SS 方式を使用しています。
(3) 「2」　：移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離をあらわす。本機の与干渉距離は、20m です。
(4) 「　」　：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

安全にお使いいただくために

以下に示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
万一、異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。
表示と意味は次の通りです。

表示	意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、ほぼ間違いなく人が死亡あるいは重傷を負う極めて高度な危険があることを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示します。

本書で使用している絵表示

	「気をつけるべきこと」危険通告を意味しています。
	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、高温による傷害の可能性があることを意味しています。
	「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品をぬれた手で扱うと､感電する可能性があることを意味しています。
	製品を水にぬらすと、感電する可能性があることを意味しています。
	「しなければならないこと」義務行為を意味しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。

本機（リチウムイオン充電池を含む）について

危険

- 指定された充電池以外、使わないでください。発火・故障の原因となります。
- 製品に同梱されているリチウムイオン充電池（BT-200：以下単に「充電池」）は、必ず下記の注意事項を守り、正しくご利用ください。下記以外の使い方をしますと、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
  ○充電は、充電池を MW-260 本体に設置し、専用の AC アダプタを使用して行ってください。
  ○充電池は、MW-260 以外には、設置・使用しないでください。電源コンセント、車のシガレット、コンセントなどに直接接続しないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を加圧、加熱、荷電するような環境（例えば、電子レンジやオーブン、乾燥機、高圧容器、電磁調理器の上など）にさらさないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を火中に投入したり、加熱または高温環境下（例えば、火のそば、ストーブのそば、炎天下、高温になった車内など、60 ℃以上になるところ）には放置しないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を水や海水につけたり、水中になげたり、濡らさないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を端子間を直接短絡、または金属類で短絡させないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を釘などの鋭利なもので刺したりして、穴を開けないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、投げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
  ○充電池および充電池の入った本機を分解したり改造したりしないでください。
  ○外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
  ○腐食環境下（塩害、海水、酸、アルカリ、腐食ガスなど）では使用しないでください。

警告

● 航空機内などの使用を禁止された場所では、その指示に従ってください。指示に従わずに使用すると、運行装置に影響を与え、事故の原因となります。

● 医療機器の周辺など、特殊な環境でご使用になる場合には、電磁波の問題がないか事前に十分に確認してください。電磁波の干渉による損害について、弊社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

● 本機の内部や端子に異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

● 万一、異物が本機に入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜いて充電池を取り出し、お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

● 次の場所では使用、充電、保管しないでください。液漏れ・火災・感電・故障・発火の原因となります。特に、高温環境下で充電すると大変危険ですので、避けてください。

○ 浴室・給湯器の近くなど水がかかる場所、湿気の多い場所
○ 雨・霧などが直接入りこむ場所
○ ほこりの多い場所
○ 火気・熱機器の近く、強い直射日光が当たるなど高温の場所
○ 炎天下の閉めきった車内
○ 結露のあるところ

● 雷がはげしいときは、AC アダプタをコンセントから外してください。万一、間近で落雷があった場合には、感電の恐れがあるため本機には触れないでください。

警告

- 本機またはリチウムイオン充電池から液体が漏れたときは、充電池の故障による液漏れが考えられます。充電池から液が漏れたときには、引火しないよう、火気から本機または充電池を隔離してください。火災の原因となります。また、漏れた液には触れないようにしてください。液が目に入ったり、皮膚につくと目や皮膚に傷害を与えるおそれがあります。万一、液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が皮膚や衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。本機を袋に入れて融離し、お買い上げの販売店またはコールセンターにご連絡ください。

- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店、またはコールセンターにご依頼ください。（お客様による分解、改造により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。）

- 本機を落とす、踏むなどの強い衝撃を与えると破損することがあります。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。破損したときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜き充電池を外して、お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。

- 煙が出ている、変な臭いがする、変な音がするなどの異常な状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜き充電池を外して、お買い上げの販売店、またはコールセンターに修理をご依頼ください。

- 指定された充電器以外では充電しないでください。

- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。火災・感電・故障・発火の原因となります。お買い上げの販売店またはコールセンターにご連絡ください。

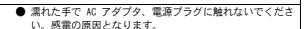
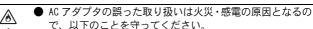
⚠ 注意

- 本機または付属品（充電池や消耗品、透明袋やラベル他）を子供、特に乳幼児の手の届かないところに保管してください。口に含む事故やけがなどの原因となります。
- 液漏れや変色、変形、その他異常がある場合は、使用しないでください。
- カセットカバー部分のみを持って本機を操作しないでください。フタが外れて本機が落下した場合に、けがなどの原因となります。

その他

- リチウムイオン充電池は、本機の動作確認用に若干量の充電がしてありますが、AC アダプタで充電してからお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本機からリチウムイオン充電池を取り外して、湿気の少ない、温度の低い環境（温度 15 ℃～ 25 ℃、湿度 40％～ 60％が望ましい）かつ静電気の発生しない場所で保管してください。リチウムイオン充電池の性能・寿命の低下を防ぐため、6ヶ月に一度は充電してください。
- 本機はリチウムイオン電池を使用しています。十分に充電しても、本機の使用できる時間が短くなったときは電池の寿命ですので、新しいリチウムイオン充電池と交換してください。交換する際には、本機と接触する端子部分をテープを貼るなどして絶縁してください。

AC アダプタについて

	⚠ 警告
	● 本機専用の AC アダプタ以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	● 家庭用コンセント（AC100V）以外では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	● 濡れた手で AC アダプタ、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
	● 分解・改造・修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店、またはコールセンターにご依頼ください。
	● AC アダプタに、コーヒーやジュースなどの飲み物、水などをかけないでください。また、水などがかかるおそれのある場所で使用しないでください。発火・感電の原因となります。
	● 電源プラグがほこりなどで汚れている時は、AC アダプタをコンセントから抜いて、乾いた布で拭き取ってください。汚れたままで使用すると、火災の原因となります。

	⚠ 注意
	● 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。発火・感電の原因となります。
	● AC アダプタの端子に異物を入れないでください。やけど・感電の原因となります。
	● AC アダプタの誤った取り扱いは火災・感電の原因となるので、以下のことを守ってください。 ○傷つけない　○ 物を載せない　○ 加工しない ○ 加熱しない　○ ねじらない　○ 束ねない ○ 無理にまげない ○ はさみ込まない ○ 引っ張らない
	● AC アダプタのケーブルを AC アダプタに巻き付けたり、折り曲げたりしないで下さい。断線の原因となります。
	● AC アダプタが破損したときは、お買い上げの販売店で新しい AC アダプタをお買い求めください。
	● 子供、特に乳幼児の手の届かないところに保管してください。けがなどの原因となります。
	● 電子レンジのすぐそばで使用しないでください。故障の原因となります。
	● 火気・熱機器に近づけないでください。AC アダプタの被覆が溶けて火災・感電の原因になることがあります。
	● 清掃など本機をお手入れするときは、AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。
	● 長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず AC アダプタを本体とコンセントから抜いて保管してください。

ご使用上のお願い

■本機は、以下の環境でお使いください。

○温度：0 ～ 40 ℃（充電は 5 ℃～ 40 ℃）

○湿度：20 ～ 80% （最大湿球温度：27 ℃）

○極端に高温な場所・極端に低温の場所・極端に湿度の高い場所・ほこりの多い場所・振動の多い場所では使用、保管しないでください。故障・誤動作の原因となります。

○急激に温度が変化する場所では使用しないでください。結露が発生して、故障・誤動作の原因となります。

○結露が発生したときは、自然乾燥させてから使用してください。

○本機はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池の特性上、低温の場所で使用したとき、印刷可能枚数が極端に少なくなることがあります。

■充電中および印字中に AC アダプタのケースや本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。

■使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

■用紙排紙口をふさがないでください。

■ AC アダプタ用コネクタや USB コネクタが汚れていると、接続不良・充電不良の原因となります。ときどき、乾いた綿棒などで清掃してください。

■本機のお手入れは、やわらかい乾いた布で行ってください。ベンジンやシンナーなどを使用すると、色や形が変わる原因となります。（→ P20 参照）

■オプション（別売品）を使用する場合は、そのオプションの取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。

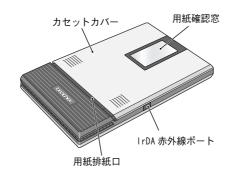
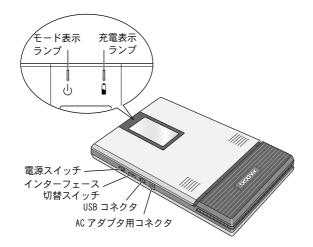
■本機は感熱紙を使用しております。印字した文字の上に書き込んだり捺印すると、文字が消えたり変色することがあります。また、インクが乾くまでに時間がかかります。

■濡れた手で本機に触れないでください。

■ペン等の先が尖ったもので電源スイッチを押さないでください。電源スイッチが陥没し、故障の原因となります。

■ USB コネクタ、電源コネクタにケーブルを挿したまま持ち歩かないでください。コネクタ部分の故障の原因となります。

■ペーパーカセット、用紙の取り扱いについて

- ○高温多湿・日光・ほこりをさけて保管してください。変色・動作不良の原因となります。
- ○ペーパーカセットは、必ずフタをしめて保管してください。変色の原因となります。
- ○炎天下の閉めきった車内に放置しないでください。変色の原因となります。
- ○開封後はなるべく早く使用してください。変色の原因となります。
- ○ペーパーカセットから抜いた用紙を、別のペーパーカセットに入れて使用しないでください。動作不良の原因となります。
- ○一度使用したり、ペーパーカセットから出した用紙をもう一度ペーパーカセットに戻さないでください。動作不良の原因となります。
- ○印字中にカセットカバーを開け、用紙を引っ張ったり押さえたりしないでください。動作不良の原因となります。
- ○折れ曲がった用紙・カールした用紙・はさみやカッターで切った用紙・濡れた用紙・水滴のついた用紙は使用しないでください。紙詰まり・動作不良の原因となります。
- ○濡れた手でペーパーカセット・用紙に触れないでください。動作不良の原因となります。
- ○極端に湿度の高い場所ではペーパーカセットの準備や交換を行わないでください。動作不良の原因となります。
- ○ブラザー工業純正のA6サイズのC-Paperシリーズをご利用ください。他の用紙を使うと、故障の原因となる場合があります。

目次

1 各部の名前

右側面

左側面

2 使い方

保護フィルムを取る

出荷時には、用紙確認窓に保護フィルムを貼っています。最初にお使いの際には、保護フィルムをはがしてご利用ください。

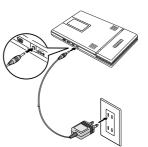
充電池を入れる / 取り外す

充電池を入れる

1. 本機の裏面、充電池カバーを①の方向にスライドします。
2. ②の箇所に指を掛けて外してください。
3. ③のコネクタ部分を合わせてリチウムイオン充電池を設置します。
4. 上記 2, 1 の順で操作をし、カバーを閉めてください。

リチウムイオン電池

充電池を取り外す

1. 本機の裏面、充電池カバーを①の方向にスライドします。
2. ②の箇所に指を掛けて外してください。
3. 充電池を取り外します。
4. 上記 2, 1 の順で操作をし、カバーを閉めてください。

●充電池を取り扱う場合、p.X の注意事項を合わせてご参照ください。

充電する

専用の AC アダプタで充電して使用します。
ご購入後は、必ず充電表示ランプ（ オレンジ色に点灯 ）が消灯するまで充電してからお使いください。

1 本機の AC アダプタ用コネクタにACアダプタのコネクタを接続します。

2 ACアダプタのプラグを家庭用コンセント(AC100V)に差しこみます。

自動的にリチウムイオン充電池の充電が開始されます。

→ 充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。
→ 充電が完了すると、充電表示ランプが消灯します。
→ 充電表示ランプがオレンジ色に点灯しない場合には、電池が正しくセットされていない可能性があります。

3 充電後は AC アダプタを必ず外します。

●MW-260 は、リチウムイオン充電池が挿入されていない場合、AC アダプタの電力だけでは動作しません。

- 回路を保護するため、極端に高温または低温のときは充電機能が働きません。
- AC アダプタのケーブルを AC アダプタに巻き付けたり、折り曲げたりしないでください。断線の原因となります。

- 電池残量が 0%の状態から満充電になるまで約 3 時間かかります。(電源 OFF 時)

使わない時のリチウムイオン充電池の保管について

●保管時には、リチウムイオン充電池を本体から取り外して涼しく湿度の低い、なるべく温度の一定のところ（温度 15 ℃～ 25 ℃、湿度 40％～ 60％推奨）で保管してください。

※高温環境下ではリチウムイオン充電池の劣化が進みます。高温（車輛内、ストーブの近く、電気カーペットの上など）環境、直射日光の当たる環境を避けて下さい。

●長期間ご利用にならない場合は、リチウムイオン充電池を本体から取り外して、冷暗所にて保管ください。
保管の際には、フル充電状態を避けてください。充電表示ランプが 1 回点滅するまでご使用頂き、保管していただくことをお勧めします。

※保管の際は、必ず本体から AC アダプタを外してください。

※端子部に金属が触れないようにご注意ください。端子間のショートにより電池が故障する可能性があります。

・過放電による電池の劣化を防止するために、半年に 1 回程度充電し、再度、充電表示ランプが 1 回点滅するまでご使用頂き、保管していただきますようお願いします。

IrDA（赤外線）を使う

1 インターフェース切替スイッチで IrDA（赤外線）を選択します。

→ 電源が入っていると、モード表示ランプが緑色に点灯します。

● IrDA（赤外線）を選択している時は、Bluetooth 機能は使えません。

Bluetooth を使う

1 インターフェース切替スイッチで Bluetooth を選択します。

→ 電源が入っていると、モード表示ランプが青色に点灯します。

● Bluetooth を選択している時は、IrDA（赤外線）機能は使えません。

Bluetooth 機能ガイド

1) Bluetooth とは？

Bluetooth とは、2,400MHz ～ 2,483.5MHz の電波を利用する短距離無線技術の一種です。Bluetooth 機能をもった電子機器同士で、方向に関係なく通信することができます。

2) Bluetooth 機能使用上の注意事項

Bluetooth 機器の発する電波は、周囲の電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。下記の場所では Bluetooth スイッチをオフにしてください。

・ 病院内
・ 航空機内
・ ガソリンスタンドなど引火物付近
・ 火災報知機

3) 良好な通信環境のために

Bluetooth は電波を使った無線技術ですので、下記の場所では接続しにくくなります。

・ 他の電子機器の付近
・ 放送局や無線機の付近
・ ワイヤレス LAN（IEEE802.11）使用域

4) その他の注意事項

Bluetooth 機器は、電源を入れてから Bluetooth 機能が使えるようになるまでに、数秒かかることがあります。この時差は機器によって異なります（本機では最大 8 秒かかります）。

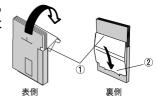
電源を入れる / 切る

1 電源スイッチを押します。

→ モード表示ランプが点灯するまで押します。

→ 電源が入ると、モード表示ランプが青色（インターフェース切替スイッチがBluetoothの場合）または緑色（インターフェース切替スイッチがIrDAの場合）に点灯します。（→p.27「表示ランプと本機の状態」参照）

●本機は、誤って電源が入ってしまうことを防ぐため、軽く触れただけでは電源が入らないようになっています。電源が入らない場合は、少し長めに電源スイッチを押してください。

●本機は、リチウムイオン充電池の消耗を防ぐため、使用中に以下の機能が働きます。
インターフェース切替スイッチがBluetoothの場合：
一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的にスリープモード（→p.27参照）に入ります。自動的にスリープモードに入るまでの「オートスリープ時間」はユーティリティソフトウェアで設定できます。（→ソフトウェアガイド参照）
インターフェース切替スイッチがIrDAの場合：
一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れるまでの「オートパワーオフ時間」はユーティリティソフトウェアで設定できます。（→ソフトウェアガイド参照）

用紙の準備

本機専用のペーパーカセットを使用してください。他の用紙を使用すると、故障の原因となります。

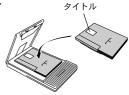
ペーパーカセットを用意する

本機にペーパーカセットをセットするための準備をします。
●ペーパーカセットの準備中に、用紙が落ちないように注意してください。

1 裏側の折り線①に沿って、フタを**しっかり**と折り曲げます。

2 フタの先を裏側の切り込み口②に差し込みます。

■ペーパーカセットの取り扱い

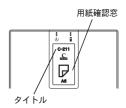
○本機は、セットしたペーパーカセットによって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的に行っています。用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。
○一度使用したり、ペーパーカセットから出した用紙をもう一度ペーパーカセットに戻さないでください。
○ペーパーカセットは紙製です。使用後は、各自治体の決まりに従って廃棄してください。
○故障の原因になるので、やぶれたり、変形したカセットは使用しないでください。
○極端に湿度の高い場所では、ペーパーカセットの準備をしないでください。動作不良の原因となります。
○濡れた手でペーパーカセット･用紙に触れないでください。動作不良の原因となります。
○高温多湿、日光、ほこりを避けて保管してください。
○保管するときは、必ずペーパーカセットのフタを閉めてください。
○炎天下の車内に放置しないでください。
○変色のおそれがあるので、なるべく早くご使用ください。

用紙をセットする

1 本機上面のカセットカバーを①の方向にスライドさせます。

→ カセットカバーが②の方向に開きます。

2 ペーパーカセットをセットします。

ペーパーカセットのタイトル（用紙の種類表示用）を上に向けます。用紙の先端が手前になるようにします。

●用紙の先端が折れ曲がらないよう、揃えてセットします。用紙の先端が折れ曲がったり、不揃いだと、紙詰まりの原因となります。

3 カセットカバーを③の方向に閉じます。

4 カセットカバーを④の方向にスライドさせます。

ペーパーカセットを正しくセットすると、用紙確認窓からタイトルが確認できます。

→ カセットカバーがロックされます。

- ペーパーカセットから用紙を取り出して、直接本機にセットすることはできません。
- 用紙の種類を変更するときは、ペーパーカセットごと取り替えます。
- 印刷実行中に、本機の用紙排紙口のまわりに力を加えたり、物を載せないようにしてください。

Windows Mobile 搭載端末または PC と通信する

本機で Windows Mobile 搭載端末や PC のデータを印刷するためには、あらかじめ Windows Mobile 搭載端末や PC にソフトウェアをインストールしておく必要があります。
ソフトウェアガイドを参照しながら、お使いのPCまたはWindows Mobile 搭載端末にソフトウェアをインストールしてください。
必要なソフトウェアやプリンタドライバ（PC 用）は、付属の CD-ROM に入っています。

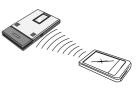
IrDA（赤外線）で通信する

IrDA（赤外線）対応の Windows Mobile 搭載端末は、本機と IrDA で接続できます。

1 本機の IrDA 赤外線ポートと Windows Mobile 搭載端末の赤外線ポートを向かい合わせにして、20 cm以内に近づけます。

2 Windows Mobile 搭載端末で印刷を実行します。

→ 通信中は、モード表示ランプが緑色に点滅します。

- ●通信中は、本機や Windows Mobile 搭載端末を動かさないでください。
- ●本機と Windows Mobile 搭載端末の間に障害物を置かないでください。
- ●本機が USB ケーブルで接続されている場合や、Windows Mobile 搭載端末側がシリアルコネクタを使用している場合は、IrDA が使えません。
- ●パソコンとの IrDA 赤外線通信には対応していません。
- ●その他の詳細は、お使いの Windows Mobile 搭載端末の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth で通信する

Bluetooth 対応の PC や Windows Mobile 搭載端末は、本機に無線で接続できます。

1 Bluetooth通信を確立します。

PC または Windows Mobile 搭載端末の設定で Bluetooth 通信を有効にし、本機との接続を確立します。

2 印刷を実行します。

→ 通信中は、モード表示ランプが青色に点滅します。

- 本機が既に他の PC や Windows Mobile 搭載端末と USB 又は Bluetooth で通信している場合は、本機と Bluetooth で通信することはできません。
- Bluetooth の設定については、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。

USB で通信する

PC または、USB ホストインターフェイス対応の Windows Mobile 搭載端末と本機は、付属の USB ケーブルで接続します。

携帯電話と通信する

本機は、NTT DoCoMoグループから販売されている504i/iSシリーズ以降の赤外線送信に対応しています。（2008年8月現在）

1. 本機のIrDA赤外線ポートと携帯電話の赤外線ポートを向かい合わせにして、20cm以内に近づけます。
2. 携帯電話のメニュー選択で、赤外線送信を選択します。

- 各機種によって操作方法や赤外線ポートの位置が異なりますので、お手持ちの携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 携帯電話の動作環境、対応機種につきましては、弊社のホームページ(http://www.brother.co.jp/product/mwprinter/）をご確認ください。
- Windows Mobile 搭載の携帯電話は、本機能に対応しておりません。ブラザーモバイル印刷ソフトウェアをご利用ください。

排紙する

用紙が詰まった場合は、以下の操作で用紙を取り除いてください。

用紙排紙口から用紙が出ている場合

1 用紙排紙口から用紙を引き抜きます。

●用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

用紙排紙口から用紙が出ていない場合

1 カセットカバーを開きます。

2 ペーパーカセットを取り出します。

3 詰まっている用紙を引き抜きます。

●用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

●用紙を引き抜いても、本機の動作には影響ありません。

ペーパーガイドを使う

ペーパーガイドを取り付ける

＊ペーパーガイド（PG-200）は別売品です。

1 本機の用紙確認窓が見える面に合わせて配置します。

2 左右に爪がかかるように溝がありますので、場所を合わせて「カチッ」と音がするまで押してください。

●ペーパーガイドは何度も着脱して使うものではありません。着脱を繰り返すと本体を傷つける、またはカバーやペーパーガイドが歪む原因となります。

ペーパーガイドを取り外す

1 カセットカバーをあけます。

2 一般的なマイナスドライバーのようなものをペーパーガイドの爪が掛かっている付近（上下 1cm が適切です）、下記①に当て、片方ずつ外します。

お手入れをする

●必ず本体の電源を切ってからお手入れをしてください。

本機を清掃する

本機表面を清掃します。

1 汚れ・ほこりは、やわらかい乾いた布で拭きとります。

汚れがひどいときは、水で濡らして固くしぼった布で拭いてください。

●ベンジンやシンナーなどを使用すると、色や形が変わる原因となります。

センサーを清掃する

センサーが汚れるとペーパーカセットを正しく認識できなくなり、動作不良の原因となります。

1 乾いた綿棒などでセンサーについたゴミを取り除きます。

用紙送りローラーを清掃する

用紙送りローラーが汚れると、用紙が正しく送られません。

1 セロハンテープを用紙送りローラーに貼ります。

2 セロハンテープを用紙送りローラーからはがします。

→ 用紙送りローラーの汚れが取り除かれます。

用紙送りローラーを回して、ローラー全体の汚れを取り除いてください。

本機を廃棄するときは

本機を廃棄するときは、リチウムイオン充電池を取り外してください。

リチウムイオン電池の廃棄

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点へお持ちください。廃棄の際、接点部分をテープ等で覆い、絶縁してください。分解しないでください。なお、送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

ブラザー販売株式会社 サービスネットワーク

サービスセンター	住所	電話番号
ブラザー販売（株） 東京事業所	〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-11	03-3274-6911
ブラザー販売（株） 関西事業所	〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21 ブラザー関西ビル	06-6310-8863

問い合わせ先
ブラザー工業（株）環境推進部環境推進グループ
電話：052-824-2407

最後まで本機をご愛用いただき、まことにありがとうございました。

●一般のゴミと一緒に廃棄しないでください。環境破壊の恐れに加え、破裂、発火の恐れがあります。

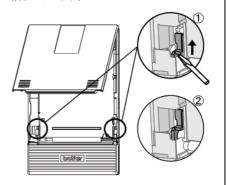
3 付録

製品仕様

本体仕様

機種名		MW-260
表示		モード表示ランプ　青 / 緑 / 赤
		充電表示ランプ　オレンジ
印字部	方式	ラインサーマルヘッドによるダイレクトサーマル印刷方式
	解像度	300dpi × 300dpi
	印字速度	20 秒 / 枚 (弊社基準原稿 感熱紙 印字率 7% 25 ℃環境)
	印字可能枚数	満充電から連続印字 50 枚以上 (Bluetooth スリープモード時を除く) (弊社基準用紙 A6 感熱紙 印字率 7% 25 ℃環境)
給紙方式		ブラザー純正ペーパーカセット、自動給紙機構
用紙		ブラザー純正 A6 カット紙 (105mm × 148mm)
印刷領域		97.5mm × 140.6mm
電源		充電用 AC アダプタ、リチウムイオン 2 次電池
インターフェース		USB Ver.2.0 (Full Speed) 準拠、Bluetooth Ver1.1 (クラス 2) 準拠 (シリアルポートプロファイル)、IrDA (赤外線) Ver.1.3 準拠
寸法		130mm (W) × 210mm (D) × 18.5mm (H)
質量		約 520g(リチウムイオン充電池、ペーパーカセット：感熱紙 50 枚入り含む)

こんなとき

Q&A

Q	A
Q：電源が入らない	A：電源スイッチを、少し長めに押してください。(→ p.10 参照) A：リチウムイオン電池の容量が残り少ない状態です。充電してください。(→ p.5 参照) A：リチウムイオン充電池が入っていない状態です。リチウムイオン充電池を入れてください。
Q：印刷の指示をしても印刷ができない	**IrDA で通信している場合** A：本機と Pocket PC や携帯電話の赤外線通信ポートの間に障害物がないか、または 20 cm以内に近づけているか確認してください。(→ p.15 参照) A：USB ケーブルが接続されているときは外してください。(→ p.15 参照) A：AC アダプタが接続されていると、家庭用コンセントからのノイズにより通信が止まる場合があります。AC アダプタを外してください。 A：インターフェース切替スイッチがBluetoothになっていると、IrDA は使えません。IrDA に切替え、モード表示ランプが緑色に点灯していることを確認してください。 **Bluetooth で通信している場合** A：パソコンまたは PDA の設定で、Bluetooth 通信が有効になっているか確認してください。(パソコンまたは PDA のお使いの取扱説明書を参照してください。) A：他のパソコンまたはPDAがUSBまたはBluetoothで本機と通信中でないことを確認してください(→ p.16 参照) A：インターフェース切替スイッチがIrDAになっていると、Bluetoothは使えません。Bluetoothに切替え、モード表示ランプが青色に点灯していることを確認してください。 **USB で通信している場合** A：本機とパソコンの USB ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。(→ p.16 参照) A：他のパソコンまたはPDAがUSBまたはBluetoothで本機と通信中でないことを確認してください(→ p.16 参照)

Q	A
Q：用紙が詰まった	A：用紙をゆっくり引き抜いてください。（→ p.18 参照）
Q：詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない	A：破れた用紙が内部に残っている可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。（→ p.30 参照）
Q：ランプが点灯、または点滅している	A：27 ページの「表示ランプと本機の状態」を参照してください。
Q：カセットカバーがとれた	A: 下図の B の部分にある白いカセットカバー受けにカチッと音がするまではめてください。 「V」字に傾けるとはめやすくなります。 B

Q：用紙が送られない	A：ペーパーカセット裏側の折り線①をしっかりと折り曲げてください。(→ p.11 参照) A：カセットカバーが完全に閉じているか確認してください。(→ p.14 参照) A：用紙が汚れている可能性があります。ペーパーカセット裏側の1枚目の用紙を抜いて、再度セットし直してください。(→ p.11、p.13 参照) A：用紙送りローラーを清掃してください。(→ p.21 参照) A: 下図（下記） 2ヶ所の可動部を、一旦、① から ② の状態にスライドさせます。 そのまま、カバーを閉じてください。（カバーを閉じると、可動部は、①の状態に戻ります。） (※長期間利用していない場合、本症状が起こる場合があります)

表示ランプと本機の状態

■モード表示ランプ

ランプが青色や緑色のときは正常な状態、ランプが赤色のときはエラー状態を表します。

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
青	点灯	受信待機状態 (Bluetooth または USB 使用可能)
	点滅	通信中（印刷データ受信中）
	遅い点滅	スリープモード（省電力待機状態、Bluetooth 通信のみ使用可能）
緑	点灯	受信待機状態（IrDA または USB 使用可能）
	点滅	通信中（印刷データ受信中）
赤	点滅	エラー状態
	点灯	システムエラー

モード表示ランプが青色のときは、Bluetooth または USB インターフェースのどちらを使用しても通信できます。ただし、いったん通信を開始すると、印刷が完了するまではもう一方のインターフェースを使用して通信することはできません。

エラー状態になったら…（以下のエラー内容を確認してください。）

エラーの内容	解決方法
ペーパーカセットなし ペーパーカセットの方向間違い 用紙なし	用紙が入っているペーパーカセットを正しくセットしてください。(→ p. 11 参照)
紙詰まり	詰まった用紙を取り除いてください。(→ p. 18 参照)
通信エラー	通信状態を確認してください。(→ p. 15 参照)
高温エラー	本機内部が高温になっています。温度が下がるまでお待ちください。

システムエラーになったら･･･
故障している可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。(→ p. 30 参照)

■充電表示ランプ

充電表示ランプで、電源の状態が確認できます。充電表示ランプには2つの機能があります。

①充電状態の確認（AC アダプタ接続時）

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
オレンジ	点灯	充電中
	消灯	充電完了
	点滅	リチウムイオン充電池の異常

②電池残量の確認（リチウムイオン充電池で起動時）

ランプの状態	電池残量の目安
消灯	電池残量 30% 以上
1 回点滅	電池残量 30% 未満
2 回点滅	電池残量 20% 未満
3 回点滅が持続	要充電

- 電池を長持ちさせるため、できるだけ電力を使い切ってから充電させてください。
- 3 回点滅が持続するようになってから充電してください。

アフターサービス

消耗品のご注文について

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●消耗品はお買い上げいただいた販売店や本製品取扱店でも取扱いがございますが、ブラザー販売株式会社情報機器事業部ダイレクトクラブにて注文も承っております。
●ご注文される場合は、ブラザー販売ダイレクトクラブの Web サイト（下記インターネットの URL）へアクセスしてください。
●配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。3,000 円未満の場合は 350 円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）配送料は変更になる場合があります。
●配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞................ <u>ご注文後2～3営業日後の商品配送</u>

○ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜銀行前振込・郵便前振替＞. <u>ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品配送</u>

○ 代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込みください。）
○ 振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞...... <u>カード番号確認後 2～3 営業日後の商品配送</u>

○ カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

ご注文先

ブラザー販売株式会社情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット　：http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯電話からのアクセスも可能です。
（但し、一部アクセスできない機種もございます）
フリーダイヤル　：**0120 － 118 － 825**
受付時間：9：00～12：00／13：00～17：00
※土・日・祝祭日および当社休日を除く

＜銀行前振込＞
振込先銀行　：三井住友銀行 上前津（カミマエヅ）支店 普通 6428357
口座名義　：ブラザー販売株式会社
＜郵便前振替＞
振替口座番号：00860-1-27600
加入者名　：ブラザー販売株式会社

ユーザーサポートについて

保証書はクイックガイドの裏表紙に付属しています。販売店・お買い上げ年月日等が記入されているかご確認ください。保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記「ブラザーコールセンター」までお問い合わせください。

ブラザーコールセンター

TEL	0120 － 590 － 385
FAX	052 － 819 － 5904
受付時間	9：00 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00 ※日・祝祭日および当社休日を除く

ホームページのご案内

弊社ホームページでは、最新の情報をお届けしています。
最新の「ソフトウェアダウンロード」や、「動作確認機種」をぜひご覧ください。

・ MPrint シリーズ製品紹介のページ
  http://www.brother.co.jp/product/mwprinter/

開発者向け情報のページでは、各ホストに対応した SDK や開発情報が無償でダウンロードいただけます。

・ MPrint 開発者向け情報のページ
  http://www.brother.co.jp/dev/mwprintersdk/

用語解説

本説明書で用いている単語の簡単な説明を記載します。分からない単語があれば、ぜひご自身でも調べてみてください。

Bluetooth　電波を使った短距離無線による通信技術の一種。Bluetooth は、その上にプロファイルと呼ばれる約束事が規定されており、同じプロファイルを持った機器同士で通信することができる。本機では、シリアルポートプロファイルを搭載している。

IrDA　赤外線通信を利用した無線通信規格の一種。赤外線を利用するため、無線ではあるが、受発光部を向かい合わせる必要がある。バージョンに 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4 とあり、通信距離と速度により規定されているため、互換性が分かりにくい。本機では、IrDA Ver.1.3 を採用しており、Ver.1.2、Ver.1.3 に対応した IrDA の機器と通信することが可能である。

	距離 30cm (ローパワー 20cm)	距離 1m
SIR(115kbps)	IrDA Ver.1.2	IrDA Ver.1.0
MIR(1Mbps) FIR(4Mbps)	IrDA Ver.1.3	IrDA Ver.1.1
VFIR(16Mbps)	-	IrDA Ver.1.4

PC　Personal Computer の略称であり、通称パソコンと呼ばれる、個人が利用することを想定して作られた電子計算機のこと。同じ電子計算機でも搭載する OS の種類によって、「コンピュータ」と表現される機器と「パーソナルコンピュータ」と表現される機器がある。本説明書で「PC」とは、Microsoft 社の Microsoft® Windows® OS を搭載した機器を指している。

PDA　Personal Digital Assistants の略称であり、携帯情報端末と呼ばれる手のひらぐらいの大きさの電子計算機の一種。元々、手帳代わりに使うことを想定された電子機器であったため、電話機能がないものが主流であったが、2006 年以降、携帯電話機能を持った携帯情報端末が登場している。PC ほどの複雑な処理ができる機能が無いため、印刷機能はついていない。本機に付属しているソフトウェア「ブラザーモバイル印刷ソフトウェア」は、Microsoft 社の Windows Mobile を OS として搭載した PDA からいくつかのデータを印刷することができるよう特別に開発したソフトウェアである。

USB　Universal Serial Bus の略称であり、PC と周辺機器を繋ぐ規格の一種。USB ホスト（主に PC の持つ USB）と USB クライアントの間で通信をすることができるという規格のため、USB クライアントを持つ PDA では本機へデータを送れないため印刷することができない。また、高速通信を可能にした USB Ver.2.0 は、USB Ver.1.1 と上位互換であり、通信速度によって 12Mbps に対応したものを USB Ver.2.0 Full Speed、480Mbps に対応したものを USB Ver.2.0 High Speed と表現する。本機は、この USB Ver.2.0 Full Speed であり、USB Ver.1.1 および USB Ver.2.0 の機器と 12Mbps の速度で通信できる。